

国語科 小学校 6年

単元名 わたしたちの「未来」について討論しよう
「百年前の未来予測」
東京書籍 「新しい国語6年下」
(旧版)

単元の流れ (全12時間)

【第1次】<学習活動の見通しを持つ>

- ◇第1時 教材文を未来予測記事の小見出しに着目しながら通読し、学習全体の見通しを持つ。

単元指導計画はこちら

CLICK

【第2次】<教材文を読み自分の考えを持つ>

- ◇第2時 未来予測記事に書かれている事柄を把握する。
- ◇第3時 未来予測記事の内容を読み取る。
- ◇第4時 筆者の未来予測についての考えを読み取り、自分の考えをまとめる。

「活用」の力育成のために

ここでは、第3次の学習活動に向けて、必要な情報を得たり、自分の考えを持ったりするために教材文を読む。本単元では、詳細な読解は行わない。

【第3次】<自分の「未来予測」を調べて、考えて、発表する準備をする>

- ◇第5時 どのようなこと(分野)について未来予測をするかを決め、調査の計画を立てる。
- ◇第6時 自分の決めた事柄について資料をもとに調べ、未来を予測してカードに書く。
- ◇第7時 パネルディスカッションのための原稿を書く。

【第4次】<パネルディスカッションで討論する>

- ◇第8時 分野ごとのグループで意見交換をし、パネルディスカッションの準備をする。
- ◇第9時 分野ごとの2グループが、パネルディスカッションをする。(本時)
- ◇第10時 第9時のパネルディスカッションのビデオを見て、良かったところや改善すべきところ、感想などを交流する。
- ◇第11時 後の2グループが、パネルディスカッションをする。
- ◇第12時 第9時のパネルディスカッションのビデオを見て、良かったところや改善すべきところ、感想などを交流し、学習のまとめをする。

単元目標

- 事実と感想・意見との関係に注意しながら筆者の考えを読み取る。
- 討論の形式やルールを知り、自分の立場や意図を明確にして話したり、相手の立場を考えながら聞いたりする。

単元構成の意図

第1次では、教材文を読み、「未来を予測し、パネルディスカッションする」という学習のめあてを確認する。

第2次では、教材文が「根拠となる事実に基づいた予測」が書かれた説明文であることを理解する。

第3次では、自分の興味のある分野について調べ、第2次で学習したことを活かし、根拠に基づいた予測を立てる。

第4次のパネルディスカッションの準備を行う際には、参加者から出されるであろう質問とそれに対する答えを予測して考えさせるとともに、友だちの意見や考えを比べながら聞くように指導する。

「活用」の力を育てるポイント

- ①自分たちも実際に未来について予測したことをパネルディスカッションするという具体的な活動を第4次に取り入れ、筆者の述べ方の工夫に気を付けながら教材文を読ませる。
- ②教材文から、自分の立場をはっきりさせて「結論—根拠」の順で話すことに気付かせ、論理的な話し方を身に付けさせる。

本時の流れへ

授業展開例へ

HOME

評価問題